

解説

Rooster RXシリーズ 用ファームウェアです。

変更履歴

2022/6/21 v1.17.0

- ・SunDMS WANハートビート機能を追加
- ・SunDMS IPアドレス通知機能を追加
- ・TELNETコマンドの「show ip alwayson/wan」で正しく出力されない不具合の対策
- ・IPSecのDeadPeerDetectが不安定になるときがある不具合の対策
- ・L2TP/IPsecサーバでIPsecパケットのみで通信するように修正

2020/9/1 v1.16.0

- ・初期パスワード変更を促す仕様を追加
 - ・RX260、CPA/CRGタイプEに対応
- ※搭載されている通信モジュール「KYM12」のファームウェアバージョンが 02.03.00以降で対応となります。通信モジュールのバージョンは TELNET 設定機能説明書_Ver1.16.0 P180、「モバイル通信 端末情報一覧を表示する」でご確認ください
- ・TELNETコマンドに現在接続されているWANのIPアドレスを知るコマンドを追加
 - ・SunDMSで使用する新ルート証明書の追加
 - ・PPTP接続失敗でVPNランプが消灯しなくなる時がある不具合の対策
 - ・Web 設定でPPTPの全てのログ取得で正しくファイルが取得できない不具合の対策
 - ・L2TP接続失敗時にVPN LEDが消灯しなくなる時がある不具合の対策
 - ・RX230 で「ソフトウェアの自動電源OFF/ON機能」の「回線接続中は電源OFF/ONしない」を設定し、ダイヤルアップと常時接続のマルチ通信をしている場合、常時接続が接続中にダイヤルアップが切断すると電源OFF/ONしてしまう不具合の対策

2020/1/28 v1.15.0

- ・ソフトウェア再起動機能にて時間分散設定を追加
- ・PPPoE接続にてサービス名設定を追加
- ・icmp 応答無し設定でWAN ハートビートで応答が無くなる不具合の対策
- ・WAN 自動取得でWAN側からアクセスできなくなる場合のある不具合の対策
- ・L2TP未接続でVPN LEDが消灯しない場合のある不具合の対策
- ・RX210で、おやすみモードから復帰時にSMSを受信しない時がある不具合の対策
- ・L2TPの動作安定化
- ・RX280で、おやすみモードから復帰時にSMSを受信しない時がある不具合の対策
- ・RX230 で搭載されている通信モジュールのセルフリセット時に通信モジュールが起動しなくなる場合のある問題を対策

2019/4/5 v1.14.0

- ・VRRP機能追加
- ・SunDMS ステータスが出力されない場合のある問題を対策
- ・L2TPの接続性の安定化
- ・RX280でネットワークモードが表示できるように修正
- ・RX230 で搭載されている通信モジュールのセルフリセット時に通信モジュールが起動しなくなる問題を対策

2019/1/11 v1.13.0

- ・「SunDMS」有償サービスの後位端末死活監視、電源制御に対応 ・ICMP応答の有無を追加
- ・「DNSリレー」設定がOFFの場合、SunDMS機能における名前解決が失敗する問題を修正
- ・WAN 接続をしている際、LAN-WAN間で大量通信時の安定性を向上

2018/8/21 v1.12.0

- ・デバイスマネジメントサービス「SunDMS」対応
 - ・WAN ハートビート設定において「タイムアウト回数」設定を追加
 - ・WAN ハートビート機能で異常時にモバイル通信端末をリセットできる機能を追加
 - ・L2TP通信スループットの高速化
 - ・有線回線を使用した時に、IPsecサービスが停止してしまう場合のある不具合を修正
 - ・IPsec の動作安定化
- ※ファームウェアアップデート後、「SunDMS」は、WEB設定画面、TELNET設定ではOFF になっておりますが、機能としては動作しており、管理サーバへ自動的に接続します。必要に応じて、改めて機能のON、OFF を設定ください。詳しくは取扱説明書をご参照ください。

2017/10/31 v1.10.0

- ・回線バックアップ機能の追加
- ・仮想サーバのインターフェイス設定に"全て"を追加
- ・IPsec のインターフェイス設定に"自動"を追加
- ・Web 設定, TELNET設定におけるデフォルトゲートウェイ記述をゲートウェイに修正
- ・APNの最後に空白文字が入った時エラーとならないように対応
- ・仮想サーバでポート番号変換が伴う設定に加え、INPUTフィルタリングポート番号指定をした場合、仮想サーバに接続できない問題を修正
- ・IPsec の動作安定化
- ・圏外でモバイルの周波数を取得時に不正な文字が出力されるのを対策
- ・RX230でSIM未挿入時でもモバイル通信端末情報が取得できるよう修正

2017/1/26 v1.9.1

■お詫び

2017 年1月16日にリリースしたファームウェアVersion1.9.0に不具合が見つかりましたので、新たに1.9.1をリリースいたします。1.9.0から1.9.1への修正項目は※になります。

※WAN ハートビートが起動しなくなる場合のある問題を対策

- ・RX230 で常時接続機能を追加
ダイヤルアップ接続と同時に接続し通信ができる（マルチ通信）に対応
- ・NAT トラバースル機能を追加
- ・WAN ポートのNAT設定を、工場出荷時設定から「有効」にするよう変更
- ・アドレス解決機能でIP通知するインターフェイスを指定する設定を追加
- ・DHCP 機能において大量のDISCOVER パケットを受信し続けると割り当てが行われなくなる場合の問題対策
- ・外部からのDNS問い合わせパケットが「通過ログ」に出力されてしまう現象の対策、
またNTP問い合わせの受信パケットが「遮断ログ」に出力される場合のある現象の対策
- ・TELNETコマンドにおいて不正な「set mobile apn list」コマンドでエラー表示しない場合のある不具合を修正
- ・INPUTフィルタリングにおいて、プロトコル・ポート番号が正しく適用されない場合のある不具合を修正
- ・アドレス解決機能で一部メール送信できないサーバに対応（SMTPサーバ「qpsmtpd」）
また、メール送信先の設定で「ユーザ認証 SMTP over SSL」、「ユーザ認証 SMTP STARTTLS」の場合、複数アカウントにメール送信できない問題に対応
- ・L2TP動作時にモバイル通信サービスが再起動する際、システムも再起動する場合がある問題を修正
- ・WAN ポートをLANとして使用する設定とした場合、LAN1-LAN2間で大量通信した際に再起動される場合のある現象の対策

2016/7/25 v1.8.0

- ・FORWARD フィルタリングの工場出荷時の設定から「受信」設定を削除
- ・クリックジャッキングの脆弱性対策
- ・CVE-2015-7547 脆弱性を対策
- ・WAN ハートビートの監視先の指定で「WANのゲートウェイ」の項目を削除
- ・IPsec とPPTP接続を同時利用できるように変更
- ・おやすみモード移行時にRAS着信すると24時間レジュームしなくなる場合のある不具合を修正
- ・WAN の設定が「DHCP」の時、DHCP再割り当ての際にアドレス解決機能が停止する場合のある不具合を修正
- ・エリアメールの出力フォーマット仕様を変更（RX130）

2016/2/12 v1.7.0

- ・RX210でおやすみモードを使用する場合、ダイヤルアップの自動接続設定を可能に対応
- ・RX210工場出荷時のAPN設定を無しに変更
- ・起動直後、PPPの確立に失敗することがある不具合を修正
- ・PPPネゴシエーション完了後直ちに切断された時に切断を認識できない場合がある不具合を修正
- ・仮想サーバでプロトコルall、INPUT フィルタリングで TCP,UDP を設定した場合、外部からのアクセスができない不具合を修正
- ・IPsec 接続していると24時間毎にRXが再起動してしまう場合のある不具合を修正
- ・L2TPが接続できなくなる場合のある不具合を修正
- ・L2TP,PPTPのステータス表示のIPアドレス項目で、次のIPアドレスが混ざることがある不具合の修正
- ・緊急速報にブザー鳴動フラグ、警報種別の使用を追加に伴い、telnet、ブロードキャスト転送プロトコル仕様を変更（RX130）